



ぱたぽん通信

制作：東野小 学校応援団ぱたぽん 発行：PTA会長 秋葉 真由美

2022年
9月号

9月14日(水)に今年度第3回の読み聞かせをおこないましたので、お知らせします。

1-1 『バナナじけん』



高島 那生 作/絵
BL出版/2012年

車の荷台から次々と落ちていくバナナ。そのバナナが意外な方法で戻ってきます。バナナを目の前にした動物たち。どうなると思う？

(末廣 祐里)

2-3 『ゆめぎんこう』

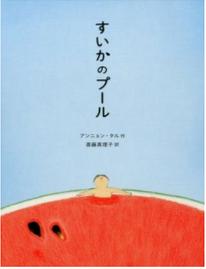


コンドウ アキ 作
名久井 直子 絵
白泉社/2020年

1年に1回ゆめを買って、アメにしてくれるゆめぎんこう。ある日、1人のおじさんが買いつり依頼にきました。そのおじさんがみたゆめは…。

(菅原 幸子)

1-2 『すいかのプール』



アンニョン・タル 作/絵
斎藤 真理子 訳
岩波書店/2018年

おおきなすいかが、おいしそうにじゅくしたら、すいかのプールのはじまりです。みんなでいっしょにピチャピチャすれば、すいかジュースができますよ。

(高久 容子)

2-4 『このほんよんでくれ』



ベネディクト・カルボネリ 作
ミカエル・ドゥリュリュウ 絵
ほむら ひろし 訳
クレヨンハウス/2019年

人間の親子が森のベンチで本を読んでいる所に出くわしたオオカミはその本の話に聞き入ります。でも途中でその親子は本を落として帰ってしまいました…。

(藤田 佳子)

1-3 『どろんこハリー』★



ジーン・シオン 作
マーガレット・フロイ・グレアム 絵
わたなべ しげお 訳
福音館書店/1964年

黒が犬のハリーはおふろが大のがて。ある日、ハリーは庭にブラシを隠して飛び出すとハリーの冒険が始まります…。

(石川 彩加)

3-1 『いじわるな ないしょ オバケ』★



ティエリー・ロプレヒト 作
フィリップ・ホーセンス 絵
野坂 悦子 訳
文溪堂/2009年

うっかりママのたいせつなしんじゅのくびかざりをこわしてしまったサラ。ほんとうのことがいえずないしょにしていたら…くちからオバケがとびだしちゃった！

(山本 慶子)

1-4 『おうちりくじょう グランプリ』

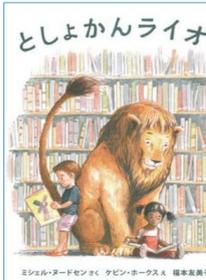


二宮 由紀子 作
国松 エリカ 絵
文研出版/2022年

スポーツの秋。おうちにあるものたちが、10種競技に挑戦です。さて、1位になるのは一体誰でしょうか！？

(宮崎 真梨)

3-2 『としょかんライオン』★



ミシェル・ヌードセン 作
ケビン・ホークス 絵
福本 友美子 訳
岩崎書店/2007年

図書館にライオンがやってきました。ライオンはみんなの人気者に。ところがまきを守れなかったので出て行ってしまいます。図書館に戻ってきてくれるのでしょうか。

(三浦 三枝子)

2-1 『パンどろぼう』



柴田 ケイコ 作/絵
KADOKAWA/2020年

まちのパンやからサササッととびだすひとつのかけ。パンがパンをかついでにげていきます。パンにつつまれたその正体とは！？

他『パンどろぼうとなぞのフランスパン』KADOKAWA

(鶴田 さち子)

3-3 『ひみつのカレーライス』



井上 荒野 作
田中 清代 絵
アリス館/2009年

フミオはカレーライスが大好き。お父さんもお母さんもカレーライスが大好きです。今日もみんなでカレーライスをおいしいおいしいなあ！と食べていると、その時…かりつ。フミオの口の中から出てきたのは？

(上野 邦晴)

2-2



八代教頭先生が読んでくださいました

3-4 『きよだいな きよだいな』★



長谷川 摂子 作
隆矢 なな 絵
福音館書店/1988年

「あったとさ、あったとさ…巨大なピアノがあったとさ。」と、巨大な〇〇に100人のこどもがやってきて思いっきり遊びます。ワクワクがいっぱいの絵本です。

(坂本 香奈)

4-1 『ほんとうのことをいってもいいの？』



パトリシア・C・マキサクク 作
ジゼル・ポター 絵
福本 由紀子 訳
BL出版/2002年
お母さんにうそをついてしまったリビーは、これからは「ほんとうのこと」を言おうと心に決めます。でもそれが周りの人を傷つけてしまいます。

(堀口 美樹)

5-2 『かあさんのいす』



ペラ・B・ウィリアムズ 作/絵
佐野 洋子 訳
あかね書房/1984年
わたしはしょうどうはたらかあさんわたしはかあさんと私は食堂で働いています。私はそのお金をびんにいれます。火事で全部焼けたからです。いっぱいになったのでいすを買いました。いすは大活躍しています。

(奥主 真由美)

4-2 『もしも 深海でくらしたら』



山本 省三 作/絵
WAVE出版/2022年
これは、ほんの少し未来のおはなし。海底にある街で暮らす人たちの生活って？どんな景色？どんな生き物があるの？解説付きで、深海の事が色々知ることができる一冊。

(中田 沙那)

5-3 『おおきな木』★



シェル・シルヴァスタイン 作/絵
村上 春樹 訳
あすなろ書房/2010年
原作はThe Givingtree（与える木）というタイトルです。愛とは与えるものなのか。少年の気持ち、木の気持ち両方の視点から愛とは何か感じ取ってみて下さいね。

(河東 友子)

4-3 『オニじゃないよ おにぎりだよ』



シゲタ サヤカ 作/絵
えほんの杜/2012年
まずいオニギリを人間が食べていることを心配したオニたち。おいしいオニギリを食べさせてあげようとがんばります。

(山口 真由美)

6-1 『どうぶつさいばん ライオンのしごと』



竹田津 実作
あべ 弘士 絵
偕成社/2004年
さいばんにうったえたのは、おかあさんがころされたヌーの子。うったえられたのはライオンのおかあさん。どんなさいばんになるのでしょうか。

(唐 勝子)

4-4 『ぼくのジイちゃん』



くすのき しげのり 作
吉田 尚令 絵
佼成出版社/2015年
田舎からやってきたジイちゃん。なんだかカッコ悪い。でも運動会当日、ぼくはジイちゃんのすごい秘密を知ってしまったんだ。新しいおじいちゃん像を描いた心温まる作品です。

(鈴木 妙子)

6-2 『あまのいわや』



ふしみ みさを作
ポール・コックス 絵
岩崎書店/2020年
日本には三人の神様がいました。天の国の天照、夜の国の月読、海の国の須佐之男です。ある事をきっかけに、天照が洞窟に籠り世界は闇に包まれます。

(杉野 彰美)

5-1 『3びきのかわいいオオカミ』★



ユージーン・トリビザス 作
ヘレン・オクセンバリー 絵
こだま ともこ 訳
富士房/1994年
3匹のこぶた、ではなく3匹のかわいいオオカミはお母さんから独立家を建てます。ところが悪い大ブタがやってきて、こぶたのお話とは違った結末にたのしくもあり、考えさせられます。

(相馬 佳奈)

6-3 『アフガニスタンのひみつの学校 ほんとうにあったおはなし』



ジャンネット・ウィンター 作/絵
福本 友美子 訳
さ・え・ら書房/2022年
女の子が学校に行くことを許されなかったタリバン政権下のアフガニスタンに女の子のための秘密の学校がありました。再びタリバンの支配を受ける子に心を寄せて。

(木内 愛子)

「ばたぼん」は、絵本「まりーちゃんとひつじ」のひつじの名前からとりました。東野小 読み聞かせ活動 の名前です



次回の読み聞かせは
10月19日(水) 8:25~8:40です。

お楽しみに！

なお、保護者のみなさんも見学できます。

ばたぼん通信が本選びの参考になればうれしいです！